



き

きたむ
北向きの

こうしんさま
庚申様に

ゆれた
絵馬

きたむ
北向き庚申神社

栗原地域の^{くりはら}上栗原にある北向き庚申神社の^{しんじや}神殿の中に
は、二体の^{かみ}ご神像が祭られています。いずれも^{しんぞう}青面金剛
像を^{しんぞう}ほった庚申塔で、^{めいわ}明和八年（一七七二）と^{おぼ}慶応四年
（一八六八）につくられたものです。

昭和のはじめ、^{がんびょう}眼病を^{しやうわ}わずらった村人が毎日お参りを
していたら、^{きざ}奇跡的に^{なま}治ったことがきっかけとなり、そ
れからは^{しんぞう}県内をはじめ、^{しんぞう}東京方面からもたくさんの方が
^{しんぞう}祈願のためお参りするようになりました。願いごとを書
いた^{えま}絵馬が、^{しんぞう}現在もだいに保存されています。

き